

専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 准教授	氏名 高本 恵美	大学院における研究 指導担当資格の有無	有		
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日（期間）	概 要			
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）						
陸上競技 I	平成25年～平成30年	視覚教材を用いて、到達目標となる技能等の確認を行い、さらに、ipad等のタブレット端末のビデオカメラ機能を用いた撮影・再生や遅延再生によるフィードバックによる技能到達度の確認を行うことで、課題解決のための課題の明確化を図っている				
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
泉佐野市教育研究会保健体育部講習会	平成25年	「陸上運動」講師				
大阪スポーツ大学	平成25年	「子どものトレーニング」講師				
泉南市立一丘小学校教員研修会	平成25年	「陸上運動」「体力を高める運動」講師				
大阪府高齢者大学校	平成23年～平成28年	「子どもの体力トレーニング」講師				
堺市スポーツ指導者養成講座	平成23年～令和元年	「スポーツ指導の基礎知識」講師				
堺市ジュニア育成プログラム	平成23年～平成29年	「陸上競技」講師				
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書（単著）						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書（共著・分担執筆）						
題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
運動生理学20講第3版		175-179頁	朝倉書店	東京	平成27年4月	
体力トレーニングの理論と実際		65-76頁、125-130頁	大修館書店	東京	平成27年7月	
技師の指導の中核的ポイントはどこか？／子供イキイキ！楽しい体育の授業11号	高本恵美	12-13頁		東京	平成27年11月	
原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）						
区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
実践報告	インターンシップ実習における「メンター指針」作成に向けての意識調査：実習校を対象として	村上なおみ、伊藤栄野、加藤勇之助、柏森康雄、神崎浩、楠本繁生、小林博隆、高本恵美、中大路哲、淵本隆立	大阪体育大学紀要	47	129-141頁	平成28年3月
実践報告	2016年度大阪体育大学トレーニング科学センター活動報告	渡邊有実、前島悦子、足立哲司、有吉晃平、石川昌紀、植木章三、岡村浩嗣、貴嶋孝太、木村彩、菅生貴之、曾根純也、曾根裕二、高本恵美、友金明香、中井俊行、藤井均、松田基子、三島隆章、梅林薫	大阪体育大学紀要	48	125-136頁	平成29年3月
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内（一般演題）	令和元年10月	日本体力医学会	モチベーションと集団心理的要因のフィールドパフォーマンスにおける交互作用の検討	筑波大学	小菅萌他	

国内(一般演題)	令和元年7月	European College of Sport Science	Characteristics of motion-frequency in long-term athletes	Prague	A. Arai, M. Takamoto
科学研究費等の取得状況					
科学研究費/その他の助成金/外部資金					
区分	種類	題目	代表・力役の氏名	期間	助成額(期間内の総額)
特許					
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号
<b>Ⅲ 加入学会および社会における活動</b>					
期 間	内 容				
加入学会					
平成11年～現在	日本体育学会会員				
平成11年～現在	日本陸上競技学会会員				
平成13年～現在	日本スポーツ教育学会会員				
平成15年～現在	大阪体育学会会員				
平成17年～現在	大阪体育学会理事				
社会的活動					
平成15年4月～平成25年6月	日本陸上競技連盟 科学委員会 委員				
平成15年4月～現在	関西学生陸上競技連盟 コーチ				
平成27年1月～現在	関西学生陸上競技連盟 強化委員会 委員				
平成20年11月～平成22年3月	大阪体育学会50周年記念事業実行委員会 委員				
平成23年1月～平成24年12月	大阪市スポーツ振興審議会 委員				
平成23年4月～平成25年6月	日本陸上競技連盟 普及育成委員会 地域拠点部 近畿担当				
平成23年4月～平成23年10月	日本ゴルフ学会第24回大会実行委員会 委員				
平成24年4月～平成25年3月	大阪体育学会大会実行委員会 委員				
平成29年9月～平成30年3月	日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会ワーキンググループ 委員				
<b>Ⅳ 管理活動</b>					
期 間	内 容				
委員会活動					
特別プロジェクト活動					
平成30年度～	女性アスリート育成支援プロジェクト				
令和元年度～	スポーツ庁 2019年運動部活動改革プラン				
<b>Ⅴ クラブ活動の指導業績</b>					
1. 指導クラブ名	陸上競技部	2. 役職	2003～コーチ 2017～監督・コーチ	3. 部員数	250 人
4. 現場指導の頻度	① ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数:	0 回	延べ日数:	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
	大阪学生対校陸上競技選手権大会	4月	大阪		
	関西学生対校陸上競技選手権大会	5月	京都・奈良		
	西日本学生対校陸上競技選手権大会	7月	京都		
	日本学生対校陸上競技選手権大会	9月	岐阜		

U20日本陸上競技選手権・混成大会	6月	長野
日本陸上競技選手権大会	6月	博多
関西学生新人陸上競技選手権大会	9月	大阪
関西学生種目別陸上競技選手権大会	10月	大阪
U20陸上競技選手権大会	10月	広島
関西学連競技会	8月	大阪
大阪体育大学天理大学対校陸上競技選手権大会	8月	大阪
大阪府陸上競技選手権大会	6月・7月	大阪

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)

開催期間	大会名	成績	場所
平成27年5月	関西学生陸上競技対校選手権大会	男子三段跳1位	長居
平成27年5月	関西学生陸上競技対校選手権大会	男子走高跳3位	長居
平成28年5月	関西学生陸上競技対校選手権大会	男子棒高跳3位	長居
平成29年5月	関西学生陸上競技対校選手権大会	男子棒高跳3位	長居
平成30年5月	関西学生陸上競技対校選手権大会	男子十種競技2・3位	西京極
平成30年6月	西日本学生陸上競技対校選手権大会	男子走幅跳2・3位	沖繩
平成30年6月	西日本学生陸上競技対校選手権大会	男子十種競技3・4位	沖繩
令和元年5月	関西学生陸上競技対校選手権大会	男子棒高跳4位	西京極・鴻ノ池
令和元年6月	西日本学生陸上競技対校選手権大会	男子十種競技4位	西京極
令和元年10月	U20日本陸上競技選手権大会	女子走高跳3位	広島広域

#### VI 賞罰 (職務に関する賞罰)

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考